

【事務事業調査】

事務事業名	障害児養育支援事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					01-030201-006-01-05-0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 田野辺友子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	特別支援学級(学校)に通学する障害児を放課後・長期休業時に施設において一時預かる。送迎は学校－施設間は施設が、施設－自宅間は保護者が実施する。児童館きのこのもりにおいて実施している事業を、指定管理者に委託する事業である。	児童の安全確保および異年齢集団の中で過ごすことによる自立促進、ならびに保護者の介護負担軽減、就労時間の確保等が図られる。学童保育所の利便性がより良いものになるだけでなく、民間の手法を取り入れることで、施設の維持管理にかかるコストも削減していくことができる。近年は通学校の多様化、高等部の新設に伴い送迎先の多様化および送迎時間の増加が著しい。
実績	特別支援学級(学校)に通学する障害児を放課後・長期休業時に施設において一時預かりを実施した。送迎は学校－施設間は施設が、施設－自宅間は保護者が行った。児童館きのこのもりにおいて実施しているこれらの事業を、指定管理者に委託し、実施した。登録者29名で利用延べ人数は1,288人であった。	児童の安全確保および異年齢集団の中で過ごすことによる自立促進、ならびに保護者の介護負担軽減、就労時間の確保等が図られた。学童保育所の利便性がより良いものになるだけでなく、民間の手法を取り入れることで、コストも抑えることに繋がった。また、近年、通学校の多様化、高等部の新設に伴い送迎先の多様化および送迎時間の増加が著しいが、事業を利用することで家族の時間の有効活用や労力の軽減につながった。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
サービス利用延べ人数(単位:人)	1,530人	1,288人	実績 (H16: 915人、H17: 991人、H18:1,330人、H19:1,203人、H20: 1,478人)

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 委託料	7,113,560
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	7,113,560

■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 委託料	8,911,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	8,911,000

■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 委託料	8,911,000	人件費: 7,973,000円 事務費: 938,000円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	8,911,000	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		8,911,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		8,911,000	
決 算	決算額		8,911,000	
財 源	国庫支出金		2,779,000	地域生活支援事業費
	県支出金		1,389,500	地域生活支援事業費
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	4,168,500
	差引(一般財源)	7,113,560	4,742,500	